

新入社員の1年間における変化の傾向

新入社員の变化に適したプログラム

入社前
2~3月

最後の学生期間を過ごす時期

大学生ならば卒論の提出や卒業の確定となる時期であり、最後の学生生活を楽しもうとする者が多い。入社前の準備としては、生活習慣の改善や時間を守る心がけ、身だしなみや言葉遣いの確認を行う者が多い傾向にある。

内定者研修 2/17 (土)

入社前に、必要な意識や行動習慣を理解させ、残り期間をどのように心がけて過ごすべきか、4月までの目標と取り組み内容を考えます。

入社初期
職場適応期
4~5月

最も学習量が多く、負荷がかかる時期

生活リズムや人間関係などが大きく変化する時期。新しい組織に加入するため最も緊張度や学習負荷が高くなり、「職場の人間関係に受け入れられるか・仕事についていけるのか」について心配しやすい。

基本習得プログラム

- ① 4/2 (水) ・ 4/3 (木)
- ② 4/7 (月) ・ 4/8 (火)

社会人としての考え方やビジネスマナーを実践的に教えると共に、身につけるべき能力の順番、挫折を乗り越えるために必要な物事の捉え方などを学びます。

人間関係
適応期
6~7月

職場の人間関係に慣れてくる時期

職場の人間関係やルールについて、徐々に適応できてくる時期。報連相などの業務に求められるコミュニケーションへと悩みの内容が変化してくる。また、同期と自分を比較しての劣等感や能力不足について行き詰まりを感じる者が増える。

成長促進プログラム 4/15 (火) ・ 7/1 (火)

学びが必要となる時期に応じて、他者との信頼関係の構築や社会人として成長を促進させる視野の拡張、質の高い仕事の進め方や報連相の方法について、ケーススタディを用いて学習します。

ギャップ
表出期
8~9月

リアリティ ショックがメンタルに影響する時期

仕事に対するギャップの影響が表面化し、モチベーションや職場への満足度が下落し始める時期。働き方への不満、体調不良を感じる者が増え始め、同時に、自身の将来や長期的なキャリアに関する悩みも表れ始める。

社会人基礎力 アップデート プログラム

- 8/19 (火)
- 10/7 (火)
- 12/2 (火)

入社してしばらくが経ち業務への理解が進んだ時期にこれまで抱えている悩みや能力不足について、改めて社会人基礎力の理解を通じて課題解決に導きます。

自律的 キャリア形成 スタートアップ プログラム

- 9/2 (火)
- 11/5 (水)
- 1/7 (水)

自分の欲求や価値観、コミュニケーションの傾向を「選択理論心理学」に基づき自己分析をしながら自分自身の取り扱いについて理解・習得を狙います。

業務能力
向上期
10~12月

社会人としての責任感と成長意欲が高まる時期

悩みの内容が、自身の業務の能力不足へと変化し、その過程で、論理的思考や説得力といった能力向上への意欲が特に大きく高まる。また年末の繁忙期が近づくにつれ、業務管理や時間管理などのセルフマネジメント能力に関する悩みも増加する。

視座向上と2年目への不安が表れる時期

業務の理解が進むにつれて、悩みがより特定の場面に関する具体的な能力不足といったものへと変化する。また、組織構造への理解が増し、会社の指揮系統や導線について、体系的な問題点に気づくようになる。

2年目社員
準備期
翌1~3月

相性診断
(FFPO性格特性調査)

定期フォローアップ調査